

内閣総理大臣 菅 直人 様

福島の子どもたちの未来の為に

20 ミリシーベルト基準を撤回して下さい

子どもの被曝を減らすために最善を尽くして下さい

《要請の趣旨》

福島第一原子力発電所の放射能は広大な大地を、海を、空気を汚染し、多くの人々が家を、仕事を、コミュニティを失いました。しかし私達の希望である子どもたちの未来は何としてでも守らねばなりません。

避難地域から避難した子どもたちは今、各地に分散しています。既に大量に被曝している可能性があり、早急に精密検査をするとともに、長期的に健康を守る体制を作ることが急務です。

また文部科学省は福島県内の学校や保育園に対し、年間 20 ミリシーベルトまでの被曝を許容する基準を定めました。この数値のリスクを国際放射線防護委員会は、大人 1000 人に 1 人がガンで死ぬ可能性があるから見積もっていますが、子どもの危険性はその 10 倍にも及びます。5 月 27 日に文部科学省は子どもたちの被曝を減らす必要は認めましたが、20 ミリシーベルト基準自体は変えていません。この基準を直ちに撤回して下さい。

そして校庭表土の入れ替え、建物や遊具の除染、通学路の汚染レベルの細かいチェックと除染など、学校の安全性確保に直ちに全力で取り組んで下さい。

さらに食物摂取による内部被曝を避けるために、食品検査を徹底し、情報を開示するとともに、保育園や学校給食ではより安全な食材を使う体制を作ってください。

子どもたちの未来のために今こそ政府がリーダーシップを発揮し、全力で取り組まれることを強く要請します。

名 前	住 所

【集約】2011年7月末（「20 ミリシーベルト基準」が撤回されるまでは継続します）
署名呼び掛け団体 (財)原爆の囀 丸木美術館
署名送り先：355-0076 埼玉県東松山市下唐子 1401 丸木美術館事務局 0493-22-3266